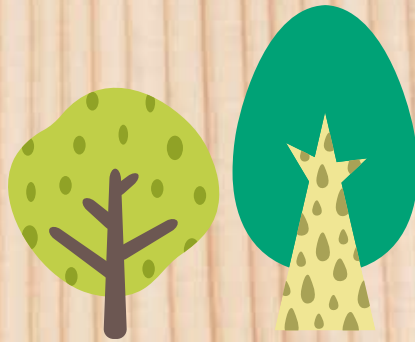


2020年度
第13回

あおもり産木造住宅 コンテスト作品集



最優秀賞 企業組合県木住「やさしさ溢れる自然素材の家になりました」

優秀賞 (有)キーポイントホーム「ナチュラル&キュートな暮らし」

優秀賞 (有)日沢建設「受け継がれる おいらせの家」

新築賞 (有)赤穂工務店「古の歴史と素材の魅力が融合した家」

審査員特別賞 (有)岩木建設「木の色が優しいコンパクトな家」

リフォーム賞 (有)久保工務店「かなえる家」



あおもり産木造住宅コンテスト実行委員会

最優秀賞 県木住が受賞

優秀賞はキーポイントホームと日沢建設



第13回あおもり産木造住宅コンテストの表彰式が令和3年1月19日、県庁で開かれた。応募作品『やさしさ溢れる自然素材の家になりました』で県知事賞(最優秀賞)に輝いた企業組合県木住(青森市)の佐藤時彦代表に対し、三村申吾知事が知事賞の県産のスギとヒバで作られた楯を贈呈した。また、最優秀賞の表彰状を、コンテスト主催者であるあおもり産木造住宅コンテスト実行委員会の駒井修一会長が手渡した。

優秀賞は(旬)キーポイントホーム



表彰状を手に(前列左から)赤穂直樹専務取締役、佐藤代表(記念品の楯)、阿保代表取締役、岩木勝志代表取締役、久保代表取締役

(弘前市)と、(旬)日沢建設(田子町)が受賞した。また、青森市の森林博物館で開催された『青い森のキコリ写真展』(令和2年10月20日から11月5日)において、コンテスト応募作品パネルを展示し、来場者に“住んでみたい家”へ投票してもらい、新築部門及びリフォーム部門それぞれにおいて投票数が最も多かった作品に授与される「新築賞」と「リフォーム賞」は、新築賞は(旬)赤穂工務店(八戸市)が、「リフォーム賞」は(旬)久保工務店(南部町)がそれぞれ受賞した。また審査員特別賞には(旬)岩木建設(十和田市)が選ばれた。

コンテストの対象となる住宅は、「新築部門」については青森県産材認証推進協議会が認証する県産材を概ね0.1㎡/㎡以上使用した新築の一戸建てで、募集に対し8作品、また「リフォーム部門」には3件の応募があった。審査に当たった県建築士会会長の川島芳正審査委員長が、「審査委員による応募作品の書類審査を行い、上位作品については外観及び内観を現地審査し、最優秀賞1作品、優秀賞2作品を選定した。なお、今回は新型コロナウイルス感染症防止のため現地審査は最少人数で行い、最終審査は主に書類と写真を用いて行った。また、一般投票により新築賞とリフォーム賞を選定したほか、審査



三村知事から県知事賞記念品の県産スギ・ヒバ製の楯を受け取った佐藤代表(左)

員及び一般投票でも評価の高かった作品に対し、審査員特別賞1作品を選定した」と審査経過を報告した。

三村知事はあいさつで、「今回も県産材を使用した住宅建築の促進を願い実施している住宅コンテストにご応募いただき、感謝申し上げます。青森の人たちが、青森の木で建てた家に住むという、地域の木材資源が地域で循環してこそ、青森の経済はもっと豊かになっていくのだと思うのです。青森県の山々は豊富な樹種に恵まれ、良い木もたくさん育っています。その木を使った住宅が、新築だけでなく、リフォームにも広がることを願い、さらに積極的な利用拡大をはかって参ります」と述べた。

最優秀賞に輝いた県木住の佐藤時彦代表は、「今回最優秀賞を頂いた住宅の施主は、奥様の父親が所有している十和田の山から木材を伐採して建てました。テーブルも、伐り出したアカマツで製作するな

ど、住宅も家具も県産材で作った文字どおり、地産地消の一軒でした。今後も地域の山と結び付く家づくりを増やしていきたい」と語った。

優秀賞受賞の(旬)キーポイントホームの阿保勝之社長は、「住宅を建てる世代は子育ての若い世代が主流になっています。その若い人たちに、県産材をどうアピールしていくか。若い世代が求めるのは、今回優秀賞を頂いた施主の奥様と同様に『可愛らしさ』です。それに加え、木の優れた特性を生かし、アレルギー症状が出ないといった家づくりを展開していきます」と抱負を述べた。

一方、リフォーム賞を受賞した(旬)久保工務店の久保直樹社長は、「床に厚さ3cmのアカマツの無垢材を敷くだけで、住む人は健康になります。工業製品とは異なる、足裏に触れる無垢材の温かさは自然木の恵みです。床に県産の無垢材を使う家づくりを増やし、県が推奨する短命県返上に貢献したい」と述べた。

最後に駒井会長が、「平成20年にスタートしたあおもり産木造住宅コンテストも今回で13回目を迎えました。願いは一つ、ふるさとの木を使った温かな住まいで健康に長生きできる人が増えること。今後も趣向を加えながら開催して参ります」と締め括った。

やさしき溢れる 自然素材の家に なりました

吹き抜けのダイニングの一角に設置された新ストーブで家全体の暖房をまかなっている

とても静かな住宅地。黒色に近いこげ茶色のガルバリウムサイディングに爽やかな黄色いスギ板が目を惹きま

す。玄関に入るとスギの板目と柾目を交互に張った縞模様が爽やかな、靴収納が目に入ります。全ての入口扉も同じ仕様で、明かり窓には深浦町にある「日神硝子」のこぎん模様のガラスをはめ込みました。1枚1枚違う表情の硝子がとても優しい雰囲気、スギの建具によく合います。

リビングには丸い把手が愛らしい国産の鋳物薪ストーブ「AGNI」を置き、吹抜けを通して家全体を暖めます。壁はホタテ貝殻粉入りの漆喰塗り、天井は土佐和紙、畳は熊本産のい草を採用するなど素材にも国産を使用することわりよう。

構造材には、お施主様のお父様の持山から伐り出した木材を100本以上使用しました。土台はヒバ、柱はスギ、梁はアカマツと全て青森県産材。キッチンカウンターにはヒバ、ダイニングテーブルには伐採した持山のアカマツを使用しています。

木の小物や布雑貨など少しずつ飾り物を増やし、好きなものに囲まれた自然素材の家を満喫して過ごしている毎日です。
(関連74ページ)



美しいコントラストを描き出す漆喰塗りの白壁と床と天井のスギの木目



ダイニングとひと続きの和室が解放感を演出

講評

この作品は、県産材がふんだんに使用された、県産材住宅のスタンダードモデルとも言える住宅となっています。

県産材の使い方、見せ方に定評のある県木住さんですが、今回の構造材は、土台にヒバ、梁にアカマツ、柱にスギを使用しており、その中でも柱のスギは施主さんの御親族の山で伐採したものを使用しています。

また、外壁にはワンポイントでスギの羽目板を貼っており、爽やかな色の自然塗

料で木の家をアピールされています。

内装では、スギの赤身と白太が丁寧に使い分けられ、床も建具も天井も一貫性を持って木材が利用されていることから、非常に落ち着いた木の味わいがある住宅に仕上がっていたほか、施主さんも壁の漆喰塗りに参加していました。

県産材の見せ方や使用量、快適な間取りづくりが評価され、最優秀賞に選出されました。

(川島委員長)



- 建築場所 / 青森市
 - 県産材使用量 / 22.6㎡
 - 県産材使用率 / 72.66%
-
- 設計・施工者(応募者) / 企業組合県木住
 - 住所 / 青森市浪岡大字徳才子字福田60-2
 - TEL.0172-55-7793 FAX.0172-55-7559
 - 木材調達先 / 青森県森林組合連合会
 - TEL.017-723-2657

ナチュラル＆ キュートな暮らし



室内の木づかいとホタテの貝殻を使った漆喰との相乗効果で、上質な空気と温度ムラのない快適な空間を実現

講評

この作品は、施主さんの願いが込められた、県産材を使用した高気密・高断熱住宅となっています。

高気密・高断熱の県産材住宅づくりに定評のあるキーポイントホームさんですが、省エネ性の指標ともなるU・A値は0.26と、北海道でも快適に過ごせる住宅となっており、実際、上下階の温度差は1度以内を保っています。

外壁にワンポイントで県産材を使用しているほか、内装では床や腰壁、天井、建具にスギを使用しています。

また、壁はホタテの貝殻入り漆喰を使用するなど、地産地消にも努められています。

「県産材を使って健康な暮らし」を営むことができる点が評価され、優秀賞に選出されました。
(川島委員長)



スギとはまた一味違った色合いの階段のタモ集成材



階段の腰壁を格子にして窓からの明かりを採り入れる細かな配慮



木と漆喰の程よいバランスと空
気感。アレルギーを持つご家族も
安心して暮らしています。

断熱・気密などの基本性能にこ
だわり、室内の木づかいと平内産
ホタテ貝殻を使った漆喰との相乗
効果で、上質な空気と温度ムラが
なく快適で健康に暮らせます。

木を一面に押し出すデザインで
はなく、若い世代にも気軽に取り
入れられるよう、木の程よい使い
方や、かわいいデザイン、小物を取
り入れることで、地元の木を気軽
に取り入れた家が完成しました。

住み心地はもろろん、家族の健

康のため、地球環境のため、少しず
つでも地元の木を採用してほしい
という想いが込められています。

山も、地域も、家も豊かな環境を
保つことで、そこに暮らす人が健
康で長生き出来る。近くの山の木
を使うことで、この地域も健康に
なってほしいという願いを込めて
います。

近くの山で育った木は、地元の
気候をよく知っている。建物に使
われてからも、地元の気候に合わ
せて生きていきます。

(関連46ページ)



- 建築場所／黒石市
- 県産材使用量／11.54㎡
- 県産材使用率／54.84%

- 設計・施工者(応募者)／(有)キーポイントホーム
住所／弘前市泉野3丁目11-11
TEL.0172-88-7705 FAX.0172-88-7706
- 木材調達先／青森県森林組合連合会
TEL.017-723-2657

受け継がれる おいらせの家

伝統的構法は文字通り、大工職の伝統が刻まれた構法、数百年の実績が語る構法ともいえるでしょう。そこに、施主自ら想いを込めて探し求めていた木材と、家族を想う安全で暖かな空間がプラスされ表現されています。伝統構法への知識、経験、それをかたちにする職人の技、どれ一つ欠けても受け継がれる「おいらせの家」を造ることは出来なかつたと思います。

500mmを超える柱・鴨居がかつちりと組み合い、家全体をしっかりと支えます。心大きく自由に健やかに育つてほしいと想う親心

は、幾重にも組み合う柱や梁が、高く広い空間で美しく光を纏うことで表現しています。

出来るだけ天然のものを使用したという施主様の想いから、全ての材に柿渋や天然オイルをコーティングしています。柿渋は、施主様御家族一同で寒い中塗ってくださいました。これから語り継がれていく家への想い出の一つです。

伝統構法でありながら、現在国の求めている暖か規準をクリアした設計となっており、伝統×性能を融合したこれからの建築住宅です。

大工職人の技量を感じさせる現わしの吹き抜け部分



柱と鴨居が組み合う伝統構法の力強さが空間に安心感をもたらす

講評

この作品は、県産材を使用した
伝統構法で建てられ、かつ省エネ
基準をクリアした住宅となっています。

伝統構法での住宅建築に定評がある日
沢建設さんですが、今回の住宅も手刻み
で県産材を加工し、土台にヒバとクリ、梁
にスギとアカマツ、大黒柱にケヤキ、その
他の柱にスギを使用するなど、適材適所
で多様な樹種を使用した住宅となってい
ました。

そのほか、全ての材を柿渋又は天然オ
イルでコーティングすることで、安全で快
適な住宅としていました。

伝統構法で、多様な樹種を使用して快
適な住宅であるという点が評価され、優
秀賞に選出されました。
(川島委員長)



飾らない部屋の造り様も
落ち着けるポイントのひとつ



柿渋や天然オイルを塗った色合いがくつろげる



- 建築場所／おいらせ町
- 県産材使用量／18.43㎡
- 県産材使用率／26.95%

- 設計・施工者(応募者)／(有)日沢建設
住所／三戸郡田子町大字山口字山口14番地
TEL.0179-33-1839 FAX.0179-33-1139

- 木材調達先／三八地方森林組合
TEL.0178-67-2003

古の歴史と 素材の魅力が 融合した家

樫の大黒柱と南部赤松の梁がダイナミックな空間を生み出しているリビング



太い大黒柱が和室に風格を与えている



「木」という素材を手刻みで生かした本格木造

講評

この作品は、多様な樹種の県産材を手刻みで加工して建てられた、平屋建ての住宅となっています。

今回も土台にはヒバ、梁にはアカマツ、柱にはケヤキやスギを使用しているほか、クリやヒバを外壁に使用するなど、様々な県産材が使用されています。

一般投票において、「木」という素材が大切にされて作られているように感じられる」、「素材が活かされた住宅となっている」、「落ち着いた雰囲気のある住宅になっている」という声が多く、新築賞に選出されました。
(川島委員長)

リビング中央に鎮座する樫の大黒柱、梁には重厚な南部赤松、その威容は訪れた者を圧倒します。玄関や居間など建具には地域の古民家から施主が足を運んで収集し、再利用した木材が利用されており、緻密で美しい木目模様広がる空間では、施主の木材に対する熱い想いを体感することができます。

床材は無垢の樺や栗、漆喰と併せた壁材には杉、赤松、槐、栓木、構造材として土台は腐朽に強いヒバ、屋根材には黒松、玄関や外壁には耐久性のある栗やヒバなど、様々な樹種の県産材を適材適所に使用しています。

歴史を刻む古民家の木材を再利用し、地域を代表する県産材の風合いと木目を生かした家づくりは、素材の特性と魅力が十分に引き出されており、施主の県産材に対する想いに、地元熟練の大工が共鳴して作り上げた木のアートと言えます。



- 建築場所／八戸市
- 県産材使用量／35.12㎡
- 県産材使用率／100%

- 施工者(応募者)／(有)赤穂工務店
住所／八戸市大字石手洗字油久保6-10
TEL.0178-96-5510 FAX.0178-96-4079

- 設計者／(有)山本建築事務所
住所／八戸市西白山台4丁目7-14
TEL.0178-70-7640

- 木材調達先／三八地方森林組合
TEL.0178-67-2003

木の色が 優しい コンパクトな家



無垢材のフローリングの足ざわりが優しいリビング



生活動線に配慮したコンパクトな造りの家



床一面に張ったスギの色合いが目に柔らか

リフォームが建て替えかを検討していたお施主様。築40年程の住宅をリフォームするより、断熱性能等を考慮し、建て替えることに。土台は青森ヒバ、柱は12cm角のスギを使い、丈夫な骨組みに、屋根からの落雪を片付けなくてもいいように片流れ屋根としました。

外壁は焦げ茶色の金属サイディング、サッシはシルバーで落ち着いた雰囲気です。玄関ポーチは雨風にあたらないうよう引込み型とし、仕上げをスギの梁、栗の柱、壁はスギの板張り、無機質な金属サイディングに木のアクセントを加えました。

玄関の扉を開けると、木の香りが漂ってきます。上がり框はクリの厚板、ホールへ進むと厚さ3cmのスギの無垢材のフローリングの足ざわりが優しく、心地良いです。

玄関ホールを抜けてリビング・ダイニングキッチンへ、レンガ調のクロスがぱっと目を引き、リビングの2本の化粧梁、キッチン・建具との配色の調和がとれており、カフェ風の雰囲気醸し出されています。中木、廻り縁、窓枠にスギの無垢材を使い、木の色合いが目にも優しく、月日が経つにつれ色の変化も楽しめ、住むほどに彩り深くなります。リビングを抜けるとトイレ、洗面、脱衣室とコンパクトな造りとなっております。生活動線に配慮した、無駄なく少人数で住むにはピッタリな家となりました。

講評

この作品は、適材適所で県産材が使用された、コンパクトで暮らしやすい住宅となっています。

構造材として、土台にはヒバ、柱は通常より太い4寸のスギの無垢材を使用するなど、丈夫で長持ちする住宅を目指しているほか、内装においてもフローリングや格子手すりにスギを使用し、生活環境にも配慮しています。

コンパクトでありながら、県産材を多用し、快適な住環境づくりに努めているという点が評価され、審査員特別賞に選出されました。

(川島委員長)



- 建築場所／おいらせ町
- 県産材使用量／9.23㎡
- 県産材使用率／76.91%
- 施工者(応募者)／南岩木建設
住所／十和田市大字洞内字井戸頭175-1
TEL.0176-27-2906 FAX.0176-27-3259
- 設計者／設計工房プランズ合同会社
住所／上北郡七戸町字七戸271-4
TEL.0176-62-4013
- 木材調達先／株式会社久保材木店
TEL.0176-23-3998

かなえる家



【無垢材×床暖房システム】の南向きの広い縁側とリビング

建物の北側は山になっていて、その斜面に面した裏側は、地面から滲み出てくる湿気が多い立地。特に浴室・脱衣所の構造躯体は、10年前にリフォームしたとは思えない程の損傷が激しかったため、湿気対策で工期に時間を要した。

全面リフォームするお施主様のご要望は、「木の温もりを感じながら素足で歩ける家」。

1F部分は住居兼「イクエアサービス

ベース。洗面脱衣所は青森ヒバの壁。「ヒノキチオール」は抗菌性とリラククス効果があり、利用者のお年寄りが広い浴室で入浴し、ここでスッと良い香りに包まれるので、あたかも自然のなかにいるような心地よさを体感します。

南向きの広い縁側とリビングは「無垢材×床暖房システム」。無垢材が温められた空気を含み温熱で血行促進が期待される心地よい空間です。



あたかも自然のなかにいるような心地よい浴室



素足で歩いてみたくなるようなアカマツを張った縁側

講評

この住宅は、木の温もりを十分に感じられるようリフォームされた住宅となっています。

バリアフリーにも配慮されており、一般投票では「素足で歩いてみたい」、「木の温かみを感じられる」、「家族が楽しく暮らせそう」といった声が多く、リフォーム賞に選出されました。

(川島委員長)



- 建築場所／八戸市
- 県産材使用量／0.002㎡
- 県産材使用率／0.00009%

- 設計・施工(応募者)／(有)久保工務店
- 住所／三戸郡南部町大字杉沢字木戸口18-1
- TEL.0178-84-3797 FAX.0178-84-3812

- 木材調達先／ハイビック(株)八戸北インター材木市場
- TEL.0178-21-6118

新築部門

作品

フルーツ農園と
自然素材の暮らし



果樹栽培が生活の基盤のお施主様からの3つのご希望は——①季節の自然産物を楽しみつつ新しい高機能住宅の要素を

取り入れ調和が取れた豊かな暮らしがしたい。②選定した果樹の枝は乾燥させ薪ストーブや風呂の燃料として活用する。③肉体労働のため、日々の健康維持にせから温まる薪ボイラーでいつでも風呂を沸かしたい。

和室とトイレの壁は光触媒効果作用で自然の空気清浄器の効果がある「幻の漆喰」の塗り壁にしている。寝室は自社独自開発の「南部赤松床材」が張られている。リビングの新ストーブや浴室ボイラーに使用する燃料は果樹の木の剪定で出た木をリサイクル。

作品

自然を楽しむ暮らし

緑豊かな周辺環境に馴染む淡い緑色の外壁色に、スギをアクセントにした落ち着いた外観。正面入り口戸を開けるとご主人が伐採体験で伐り倒したスギ大黒柱がある25帖の大空間につながります。

室内の木材はスギをメインに床材や建具、柵等に使用。スギは温かみのある風合

■建築場所/南部町 ■県産材使用量/21.3㎡ ■県産材使用率/52.98%
■施工者(応募者)/南久保工務店
住所/三戸郡南部町大字杉沢字木戸口18-1 TEL.0178-84-3797 FAX.0178-84-3812
■設計者/佐々木測量建築設計事務所
住所/三戸郡階上町大字道仏字耳ヶ畷6-370 TEL.0178-88-5334

いが特徴で、足触りがさらりとして柔らかく、赤ちゃんや小さなお子様がいらっしゃるご家庭におすす。転んでも衝撃を和らげてくれます。

床やカウンターには、木が呼吸でき、間違つて舐めてしまっても安全安心な浸透性のある



■建築場所/平川市 ■県産材使用量/31.1㎡
■県産材使用率/82.49%
■設計・施工者(応募者)/企業組合県木住
住所/青森市浪岡大字徳才子字福田60-2
TEL.0172-55-7793 FAX.0172-55-7559

自然素材を塗り保護。壁や天井には、ホタテの貝殻入りの漆喰と、土佐和紙を使用しています。

作品
**県産材のやさしさと
 触れ合う家**



色鮮やかなスギ板と屋根から飛び出る煙突、薪棚がひとときわ目を惹きます。

室内は床、天井、建具、食器棚、カウンターや本棚、窓台に至るまでスギをふんだんに使用し、木の雰囲気を一统しました。リビングに入ると二つの大きな窓からの自然光が明るく印象的で、風通しもよく、暑い夏を快適にしてくれます。天井を高くし、カーテンBOXの上に照明器具を設置。

薪ストーブの遮熱壁は、お母様のご実家である沖縄の琉球石灰岩を採用。気泡が多く蓄熱効果があり、自然の白色がとても柔らかな印象で、スギの雰囲気にとっても合っています。
 (詳細62ページ)

リフォーム部門

作品
木の安心感がある家

築37年の2階建ての住宅を断熱改修して平屋へ。長い庇の下屋を設け、夏は日射しを遮り涼しく、冬は日射しを取り入れ暖かい。改修前の住宅の建具・収納等、使えるものは再利用し、テーパー天板は大工の手で上がり框へと生まれ変わりました。

■建築場所／青森市 ■県産材使用量／27.19㎡
 ■県産材使用率／76.37%
 ■設計・施工者(応募者)／企業組合県木住
 住所／青森市浪岡大字徳才子字福田60-2
 TEL.0172-55-7793 FAX.0172-55-7559

た。

玄関を入ると、ホール壁には明かり取り用の手作りのステンドグラスが埋め込んであり、優しい光がこぼれます。床材は厚さ3cmのスギの無垢材で、足触りが心地良く、リビングダ



■建築場所／十和田市 ■県産材使用量／7㎡
 ■県産材使用率／46.66%
 ■施工者(応募者)／(有)岩木建設
 住所／十和田市大字洞内字井戸頭175-1
 TEL.0176-27-2906 FAX.0176-27-3259
 ■設計者／いわ木の家設計事務所
 住所／十和田市大字洞内字井戸頭175-1
 TEL.0176-27-2906



作品

おじいちゃんのおとみずの音水の家

イニングはスギの登り梁と板張り勾配天井で、解放感の中にとろしりとした木の安心感も。洗面脱衣室とトイレの壁と天井は青森ヒバの板張りで調湿効果があり、香りが良く快適な空間となりました。

「田舎で暮らしたい」と決意し、首都圏から五戸町に移住した家は、かつて夏休み程度の訪れた築50年の家でした。お施主様のお気に入りのリビングは、大工もやっていたおじいちゃん自ら母屋に繋げ

た馬屋。リフォーム前は、54㎡の広い空間が物置にしか使われていませんでした。

リフォームは、骨組と屋根だけを残し、経年で腐った栗の土台、柱を切り取り、同じ栗材で接木する補修から始めました。天井、内壁には県産材の杉板を加工し張りしました。

2階は、2部屋設け、一部吹抜けを作り、冬大活躍の薪ストーブを設置しました。炉壁はお施主様自身の手作りです。

■建築場所／五戸町 ■県産材使用量／16.39㎡ ■県産材使用率／89.49%
 ■設計・施工者(応募者)／大工舎
 住所／三戸郡藤上町大字道仏字泉田窪21-2
 TEL.0178-87-3547 FAX.0178-87-3547

青森県産材を使うことでのメリット

メリット1 二酸化炭素の排出を減らす

海外や県外からの輸送に比べ、運搬距離を大幅に短縮でき、木材を運ぶ船やトラックが運搬の際に排出する二酸化炭素を軽減できます。

メリット2 木を使うことで、森林が守られ育てられる

森林は、その土壌が雨水を吸収することで、洪水や土砂崩れなどの災害を防いでいます。また雨水を浄化し、海を豊かにするなどの重要な役割を持っています。成熟期に入った木は伐採して利用し、また新しい木を植えて、森林のバランスを整えることで、地域の森林を守り、育てていくことができます。

メリット3 地域の木材産業の活性化につながる

地域で育った木を使って家を作ることで、青森県の気候・風土に合った快適な家づくりができます。また森林を守り、育てていくことや、木材の生産・加工、住宅建築など、地域の木材産業の育成や発展につながります。

県産材のことなら県木協

青森県木材協同組合

青森市大字高田字川瀬104-1

TEL.017-739-8761 FAX.017-739-8749

	会社名称	所在地	TEL	FAX
東青地区	駒井木材(株)	〒030-0155 青森市大字大谷字山ノ内16-1	017-762-4004	017-729-1443
	齋藤木材(株)	〒038-0002 青森市沖館3丁目10-1	017-781-1148	017-781-1268
	福士木材(株)	〒030-0901 青森市港町3丁目11-21	017-741-6438	017-741-6439
	丸重木材工業(株)	〒038-0059 青森市大字油川字柳川1-7	017-788-3231	017-788-7203
	(株)盛興業社製材所	〒030-0852 青森市大字大野字前田63-2	017-739-6267	017-739-6257
	工藤秀製材所	〒030-1273 青森市大字左堰字大科4	017-754-3552	017-754-3552
西北五地区	(有)前田林業	〒030-1305 東郡外ヶ浜町字蟹田小国品吉95	0174-22-2350	0174-22-3313
	(株)生松製材所	〒038-3503 北郡鶴田町大字鶴田字生松108-1	0173-22-4045	0173-22-2583
	(株)成田林業土木	〒037-0302 北郡中泊町大字薄市字沖原115-101	0173-58-2842	0173-58-3017
	(有)今泉製材所	〒037-0301 北郡中泊町大字今泉字神山51	0173-58-2493	0173-58-2030
	長利木材(株)	〒037-0305 北郡中泊町大字中里字紅葉坂15-4	0173-57-2225	0173-57-3265
	(有)浜田製材所	〒037-0403 五所川原市十三通行道103-108	0173-62-2145	0173-62-3870
	笹山木材(株)	〒037-0405 五所川原市脇元赤川1257-2	0173-62-2840	0173-62-2509
	木村産業(有)	〒037-0404 五所川原市磯松唐皮31	0173-62-3425	0173-62-3571
	中島製材所	〒037-0403 五所川原市十三通行道103-82	0173-62-2169	0173-62-2172
	(有)藤田製材所	〒038-2806 つがる市木造越水長谷川54-5	0173-26-2051	0173-26-4380
	アジモク	〒038-2761 西郡鯉ヶ沢町大字舞戸町字東阿部野114-6	0173-72-3242	0173-72-5757
	(株)熊谷木材	〒038-2207 西郡深浦町大字黒崎字小浜184-1	0173-78-2434	0173-78-2435
	梶浦製材・チップ工場	〒037-0202 五所川原市金木町芦野365-74	0173-52-3683	0173-52-2549
(有)なかにし	〒037-0202 五所川原市金木町芦野365-384	0173-53-3222	0173-52-2236	
中弘南黒地区	日東産業(株)	〒038-1144 南郡田舎館村大字前田屋敷字村元110	0172-58-2855	0172-58-2854
下北地区	工藤林業(株)	〒039-5201 むつ市川内町家の辺100-53	0175-42-5227	0175-42-5077
	(有)島木材工業	〒039-4601 下北郡大間町大字大間字蛇浦道11-7	0175-37-2071	0175-37-3926
	(有)村口産業	〒039-4502 下北郡風間浦村大字易国間字大川目6-7	0175-35-2147	0175-35-2191
	(有)川崎造材	〒039-4401 むつ市大畑町湯坂下37-7	0175-34-2182	0175-34-5688
十和田上北地区	十和田燐寸軸木(株)	〒034-0051 十和田市大字伝法寺字平窪78-1	0176-28-2551	0176-28-2560
	(株)奥村木材	〒034-0001 十和田市大字三本木字佐井幅172-6	0176-23-6128	0176-23-6129
	(株)わかもと	〒034-0051 十和田市大字伝法寺字大窪92-5	0176-28-2244	0176-28-3568
	(有)山内製材所	〒039-2129 上北郡おいらせ町中平下長根山1-824	0178-56-2746	0178-56-4622
	青森木材防腐(株)	〒039-2805 上北郡七戸町字原久保95-37	0176-62-6464	0176-62-6465
	加賀木材工業(株)	〒039-2701 上北郡七戸町字中野50	0176-68-2033	0176-68-4539
	(有)エーリン	〒039-3124 上北郡野辺地町字白岩37-25	0175-64-2332	0178-62-5151
三八八戸地区	南部木材(株)	〒039-1161 八戸市大字河原木字海岸18-5	0178-21-2310	0178-21-2317
	新北菱林産(株)	〒039-1161 八戸市大字河原木字青森谷地3	0178-29-2531	0178-29-2500
	八戸チップ工業(株)	〒039-1108 八戸市大字上野字堀端21-1	0178-27-3074	0178-27-1433
	マツハシ林産(株)	〒039-0201 三戸郡田子町大字田子字野々上34	0179-32-2367	0179-32-3419
	(株)山口製材所	〒039-0613 三戸郡南部町大字剣吉字大坊6-20	0178-75-0065	0178-75-0019
	山王林産(有)	〒039-0113 三戸郡三戸町大字目時字中野107	0179-22-2040	0179-22-2878
	(株)林材センター	〒039-1161 八戸市大字河原木字海岸18-5	0178-32-0240	0178-32-0266
	(株)曾我産業	〒031-0114 八戸市南郷区中野字丑木沢41-7	0178-82-2347	0178-82-2361
	(株)丸勝木材	〒031-0804 八戸市青葉二丁目12-14	0178-43-4007	0178-47-9699

信頼の 木材製品

青森県製材JAS認定工場

認定番号	認定工場名	所在地	TEL	FAX
JLIRA				
B-10-01	丸重木材工業(株)	〒038-0059 青森市油川字柳川1-7	017-788-3231	017-788-7203
B-10-02	齋藤木材(株)	〒038-0002 青森市沖館三丁目10-1	017-781-1148	017-781-1268
B-10-06	(株)わかもと	〒034-0051 十和田市伝法寺字大窪92-5	0176-28-2244	0176-28-3568
B-10-07	上北森林組合	〒034-0301 十和田市奥瀬字生内268-1	0176-72-3111	0176-72-3114
B-10-12	三八地方森林組合	〒039-1528 三戸郡五戸町浅水字陣場92-2	0178-67-2003	0178-61-8639
B-10-13	笹山木材(株)	〒037-0405 五所川原市脇元赤川257-2	0173-62-2840	0173-62-2509
B-10-14	木村産業(有)	〒037-0404 五所川原市磯松唐皮31	0173-62-3425	0173-62-3571
B-10-15	(有)なかにし	〒037-0202 五所川原市金木町芦野365-384	0173-53-3222	0173-52-2236
B-10-17	東通村森林組合	〒039-4222 下北郡東通村砂子又字沢内9-35	0175-48-2882	0175-48-2884
B-10-18	(有)島木材工業	〒039-4601 下北郡大間町大間字蛇浦道11-7	0175-37-2071	0175-37-3926

製材等JAS第三者検査機関あおもり

〈青森県連絡先〉青森県木材協同組合

〒030-0151 青森市大字高田字川瀬 104-1
TEL.017-739-8761 FAX.017-739-8749

あおり産木材地産地消ガイドブック^Ⅹ
地元の山の木で建てた
青森県産材の家
ふるさとの木を生かし 山を守る

2021年3月20日 初版第1刷発行

〈発行所〉
青森県木材利用推進協議会(青森県木材協同組合内)
〒030-0151 青森市大字高田字川瀬104-1 TEL.017-739-8761

◎
〈編集〉
木の家に暮らす会ネットワーク
三上昇

◎
〈デザイン・印刷〉
有限会社 リピート

落丁・乱丁本はお取替えいたします。

あおもり産木材地産地消ガイドブック ❶

地元の山の木で建てた

青森県産材の家



ふるさとの木を生かし 山を守る

青森県木材利用推進協議会